

▲ 使用上のご注意

- 収納物は圧縮袋に入れる前に十分乾燥させてください。
乾燥が悪いとダニ・カビが発生する原因になります。
- ダウン80%以下の羽毛製品は、ご使用をお避けください。
- フェザー20%以上の羽根製品は、ご使用をお避けください。
- 入りにくい大きさの物を無理に押し込むとチャック端や袋が破れることがありますのでご注意ください。※ マットレス・固綿敷き布団又は布団のワタの量によってご使用になれないものもあります。
- バルブの下に収納物があることを確認してください。バルブの下に収納物がないとフィルムがバルブにはり付いて空気を吸い取れなくなります。
- 圧縮袋のチャック部分を折り曲げると、変形により密封性能を低下させるのでチャック部分は折り曲げないように注意してください。
- チャック部分に微細な繊維・ほこりなどが入ると密封性が低下しますので、この場合は水を含んだガーゼ等で十分に拭いてから、チャックを閉じてください。
- チャックを閉じる時は端からゆっくりと、丁寧にとめてください。たるみができたらもう一度チャックを開けて、閉じ直してください。チャックが完全に閉じているかももう一度指で確認ください。
- 圧縮袋内には脱酸素剤は入れないでください。収納物の生地が特殊な糸（金糸・銀糸・染め糸等）の場合、変色することがあります。
- 収納物のサイズにより収納枚数は異なります。
- 圧縮スピードは掃除機の機種や収納物の素材により多少異なります。
- 収納物の圧縮率、回復率は、収納物の素材、開封後の乾燥等によって多少異なります。
- 保存期間は約6カ月です。6カ月を過ぎても圧縮状態に異常がなければ、そのまま保存できます。但しその場合は回復率が多少悪くなります。収納物のためには、6カ月に一度圧縮袋から出し天日干しをして再度圧縮し直してください。
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
- 圧縮袋の中に防虫剤を始めとする薬剤を入れて圧縮しないでください。
- 廃棄の際は、各自治体の定める方法に従って処理してください。
- このパッケージは捨てずに保管しておいてください。

吸引する掃除機について

- キャニスタータイプの掃除機で、フラットな吸引口・海外メーカーの凸形状タイプの吸引口に対応しています。吸引口寸法は内径が30mmから45mmの範囲となります。
- 掃除機の機種によっては使用できないものがあります。
- スティックタイプやハンディタイプ掃除機、および排気循環式掃除機では圧縮できません。
- ご使用になる掃除機の取扱説明書をご確認ください。
- 掃除機内のゴミはご使用前に必ず捨ててください。吸引力が低下して圧縮できなかつたり、モーターに負担がかかって故障の原因になる恐れがあります。
- 圧縮容量が少ない場合、圧縮しにくい状態があります。
- 掃除機で2分以上、吸引すると掃除機に負担がかかり故障の原因になります。
- 圧縮作業を連続して2枚以上行う場合は、しばらく時間をおいてから圧縮作業を行ってください。
- 掃除機の吸引口が凸形状タイプは凸部分をバルブの凹部分に合わせ吸引してください。
- 圧縮袋に入れたふとん等を上から手で押さえると吸引が早く進みます。